

プロ人材の活用 へ向けセミナー

多治見商議所

多治見商工会議所(田代正美会頭)は先ごろ、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで「デジタル化対応人材確保セミナー」を開いた。

同商議所の事業環境変化対応型支援事業の一環として、中小・小規模事



手応えを語る河地社長

業者を対象に行われたもので、約三十人が出席。セミナーではまず、「プロ人材」を活用して企業の支援を行うサーキュレ

ーション(東京都渋谷区)の山本満美さんが講義を行い、参加者らは「デジタル化」や専門的知見と経験を持つプロ人材の活用などについて学んだ。

後半では、同社のサービスを利用して、今年二月にプロ人材を迎え入れた河地鉄工(多治見市姫町)の河地勝彦社長が登壇。河地社長は「すぐ結果が出るわけではない経営課題のゴールを見せてくれるので、そこに向かって進んでいける」「(プロ人材が)社長と社員の橋渡し役」となり、会社の雰囲気が変わった」などと、手応えを語った。